

県本部・活動拠点本部会議（8月20日・夕）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- ・ 氷川町の避難所拠点化・集約スケジュール
→8/24：氷川中学校へ集約。氷川公民館から一般避難所へ移動可能な10数名を移送し、空いたスペースへ氷川中から福祉避難所対象者（1名/1世帯）を受け入れ。
→8/26：竜北中学校へ集約。竜北東小学校・竜北西部小学校から福祉避難所対象者（計10名前後）を氷川公民館で受け入れ。移動・搬入作業にはDWAT支援員や外部事業者が協力して対応。
- ・ 宇城拠点でのデジタルツール活用
→NTTよりタブレット10台を借用し、被災者アンケート調査や情報共有に活用。文字起こし機能を活用して長文入力を簡略化。
- ・ 八代拠点での運用ルール決定
→個人情報保護のため、鍵付きボックスを設置（解錠暗号はオープンチャットで共有）。社協の「片付けボランティアセンター」専用帳票を運用（緊急案件は赤字で明記）。

■各拠点からの報告 ※特記事項

●八代拠点

- ・ 個別ケース支援：車椅子の次男と眼科手術後の夫を抱える母親の複合課題ケースに対応（障害相談および介護保険導入を推進）。
- ・ 避難行動要支援者訪問調査：鹿児島チーム（12件訪問/3件在宅確認、全6校区完了）、島根チーム（11件訪問/4件本人確認）、徳島チーム（18件訪問/3件在宅確認）。
- ・ 施設・アクティビティ：昭和アリーナの漏水対応・洗浄機3台設置。国境なき医師団より週1回の健康講座・運動支援（PT等）の提案受入を協議中。

●氷川拠点

- ・ 各避難所での住民説明会を順次実施（氷川中・竜北東小・竜北西部支所・氷川公民館）。
- ・ 拠点化に伴う移動を嫌い自力退所を急ぐ動きに留意。
- ・ 本日2名入院退所、明日1名自宅へ退所予定。
- ・ 悪性リンパ腫が見つかった避難者1名の経過観察を継続。

●宇城拠点

- ・ 本日よりアンケート調査を開始（13世帯対応）。
- ・ 日中不在者が多いため夜20時までの調査体制を構築。
- ・ 子どもの水遊び企画（豊野防災を候補地として調整中）。
- ・ D-PAT、日赤、栄養士チーム、保健師と連携した個別対応、ホテル避難からの帰任者追跡を開始。

■全体会議における本部からの報告・共有事項

- ・ 厚労省審議官視察：翌日 11:00 に厚労省審議官一行が DWAT の活動視察に八代拠点へ訪問予定。
- ・ 報道機関対応：宇城拠点へ共同通信社が取材予定（時間未定）。また、NHK より要支援者の支援実績数値に関する問い合わせがあったことを報告。実績・成果の定量的把握体制の構築（武田先生との連携）各拠点で実施されたアセスメント数や具体的な支援（福祉サービス・避難先へのつなぎ等）の実績成果を正しく発信するため、現場の負担にならない形で定量的データを集計・管理する仕組みを構築予定。
- ・ 各種専門ダイヤル・子ども支援情報の共有専門の「車中泊健康相談ダイヤル」が開設された旨を情報共有。子ども未来課作成の「地震後の子どもの変化と大人の関わり方」チラシや児童相談所窓口の案内を配布・共有。
- ・ 障害者グループホーム等の家族受入対応（ふれあいワーク里崎施設長より）障害者本人だけでなく、離れられない家族を含めたグループホーム等への受け入れ可能性について調査・調整を行っている旨を報告。

■確認事項・共有事項

- ・ 障害者グループホーム等において、本人だけでなく「家族での受入れ」も検討可能である旨の調整を報告。

■今後検討が必要な事項

- ・ 福祉避難所（希望の里等）における介護職員応援派遣と役割分担（全社協・八代拠点・本部）
→軽度向け福祉避難所の夜間体制（現在は市職員のみ）に対し、介護職員の応援派遣を受け入れるか、DWAT（直接支援・アセスメント）との役割分担を整理し、八代市障害者支援課と協議・決定する必要がある。
- ・ 避難所拠点化・移送におけるリスク管理および台風対策（氷川拠点・本部）
→8/26 の集約・移送作業において台風接近の懸念があるため、延期判断等のルール・基準を決定する必要がある。
- ・ アセスメント成果・支援実績の定量的把握・集計体制の構築（本部・武田先生）
→各拠点の「アセスメント件数」や「福祉サービス・避難先へのつなぎ実績」などの定量的データを現場の負担にならない形で集計・分析し、成果を社会へ発信する仕組みを整える。
- ・ 被災者アンケート・戸別訪問調査の負担軽減とデータ連携（宇城拠点・全拠点） 他支援チームとの重複聞き取りによる被災者の負担（聞き疲れ）を防止するため、支援団体間のデータ連携および訪問対象の管理体制を徹底する。